やさいレポート（令和８年 11 月号）

たまねぎ

発行日：令和８年 11 月 10 日

１．卸売価格の動向

○81 円/kg（11 月７日）

- 平年比：54%

○11 月の価格見通し

平年を下回って推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

２．小売価格の動向

○259 円/kg

（10 月９日全国平均）

- 前月比：93%、平年比：92%
- 東京：237 円（３玉）
- 大阪：196 円（３玉）

○特売店舗数／調査店舗数

- 東京：10/20（前月 5/20）
- 大阪：6/10（前月 5/10）

（機構調べ）

３．家計消費動向

○497g/人（９月全国平均）

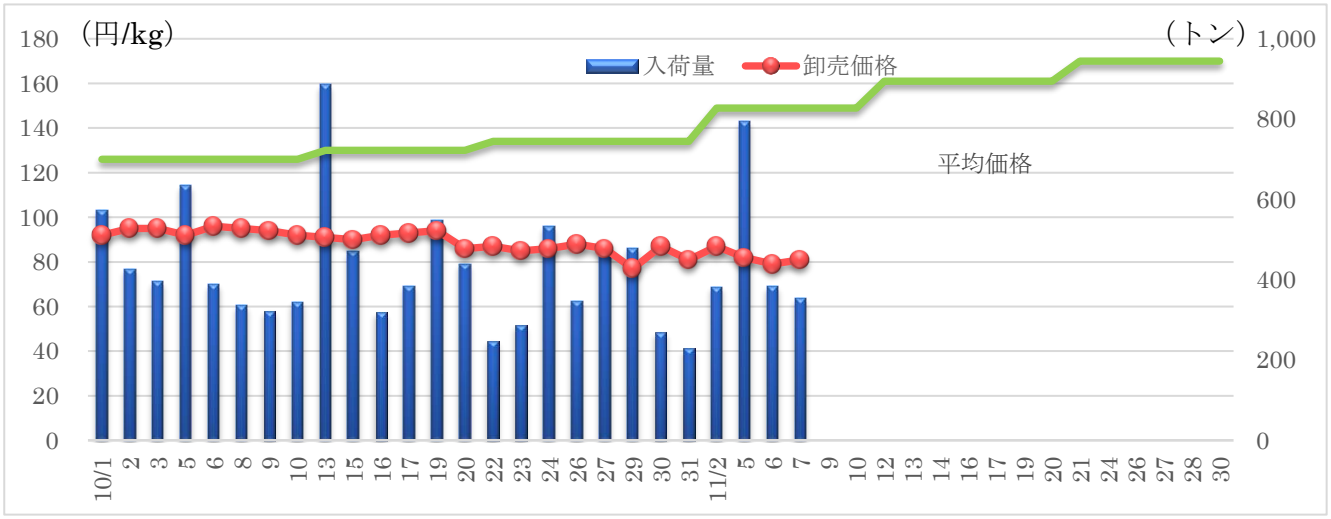
- 前月比：129%
- 前年同月比：122%

○5,007g/人（2025 年年間）

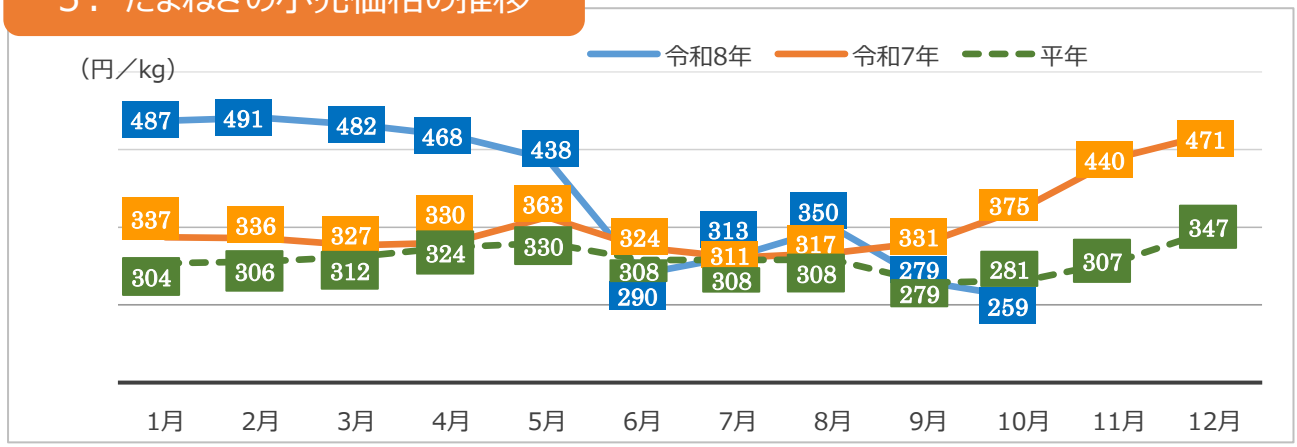
- 前年比：97%

（総務省統計局家計調査）

４．たまねぎの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



５．たまねぎの小売価格の推移



6．主産地の生育･出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道岩見沢市（8/20）	前年並み	豊作	平年並み	平年並み
静岡県浜松（10/20）	増加	平年並み	平年並み	－
愛知県碧南市（5/12）	増加	平年並み	平年並み	平年並み
兵庫県淡路島（6/3）	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
香川県豊南（6/18）	増加	平年並み	平年並み	平年並み
愛媛県西条市（7/23）	やや減少	やや不良	平年並み	平年並み
佐賀県白石（10/21）	前年並み	－	平年並み	－

※特記ない場合は平年比。（ ）内は調査日。　（機構調べ）



静岡県浜松：圃場の様子

7．向こう１ヶ月の気象情報（11/7～12/4）

	週別の天候			
11/7～11/13	北日本日本海側では、寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側では、寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
11/14～11/20	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
11/21～12/4	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
		平均気温（１か月）	降水量（１か月）	日照時間（１か月）
北日本	日本海側	低30 並50 高20% **平年並**の見込み	少30 並40 多30% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% **高い**見込み	少30 並40 多30% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
西日本	日本海側	低10 並40 高50% **高い**見込み	少30 並30 多40% **ほぼ平年並**の見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% **平年並か多い**見込み	少40 並40 多20% **平年並か少ない**見込み

（気象庁１カ月予報）

8．輸入動向（生鮮たまねぎ）

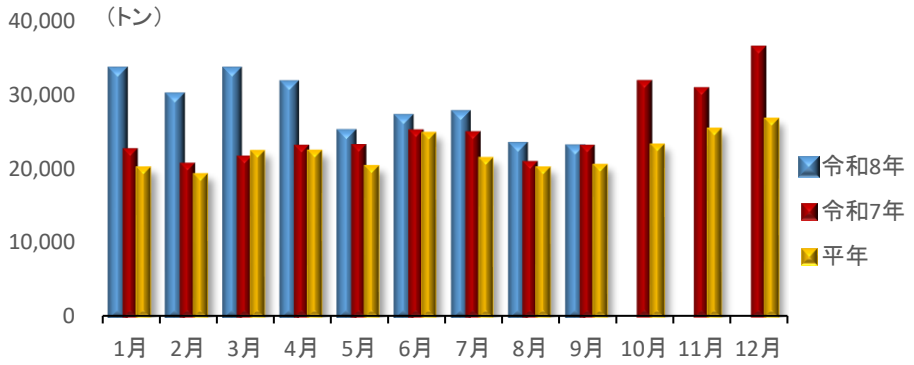
○22,767 トン（9 月輸入量）

- 前年同月比：99%

○輸入先国ベスト３

1 位　中国　22,459 トン
2 位　ニュージーランド　251 トン
3 位　豪州　49 トン

（財務省貿易統計）



9．一口メモ

10 月は、北海道産主体の入荷となった。北海道産は天候に恵まれたこともあり、大玉の比率も高く、豊作傾向であったことから、月を通して入荷量は平年を約３割上回り、価格は平年を３割以上下回った。

11 月は、北海道産中心の出荷。主産地の生育は概ね順調であり、大玉傾向となっている。出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。
ベジ探：https://vegetan.alic.go.jp/

農畜産業振興機構
野菜業務部　管理業務課